

【技術の名称】 エコノミック・ベース工法 ー柱状碎石補強体を用いた地盤補強工法ー（改定1）	性能証明番号：GBRC 性能証明 第16-05号 改1（更1） 性能証明発効日：2022年5月26日 性能証明の有効期限：2025年5月末日
	【取得者】 山下工業株式会社 株式会社建商

【技術の概要】

本技術は、独自に開発したケーシングを用いて軟弱地盤を掘削し、掘削孔内に碎石を締固めながら充填することにより築造した柱状碎石補強体と原地盤の支持力を複合させて利用する地盤補強工法である。

【改定・更新の内容】

新規：GBRC 性能証明 第16-05号（2016年5月19日）
改定1：GBRC 性能証明 第16-05号 改1（2019年5月31日）
・地盤調査箇所数の変更
更新：GBRC 性能証明 第16-05号 改1（更1）（2022年5月26日）

【技術開発の趣旨】

本技術は、環境への配慮と施工性の向上を目的として開発したもので、補強体材料として自然碎石や再生碎石を用いるとともに、建柱車などの小型の施工機を用いて狭小地においても施工可能な工法としている。また、掘削孔の崩壊を防ぎ、品質の安定した柱状碎石補強体を築造するために、独自開発したケーシングを採用するとともに、補強体材料を所定のトルク以上で締固めることとしている。

【性能証明の内容】

本技術についての性能証明の内容は、補強地盤の鉛直支持力についてのみを対象としており、以下の通りである。

申込者が提案する「エコノミック・ベース工法 設計・施工指針」に従って施工された柱状碎石補強体を用いた補強地盤の長期荷重時の鉛直荷重に対する支持能力は、同指針に定めるスクリュウウェイト貫入試験結果に基づく支持力度算定式で適切に評価できる。

また、本技術については、規定された施工管理体制が適切に運用され、工法が適正に使用されている。



図1 施工状況

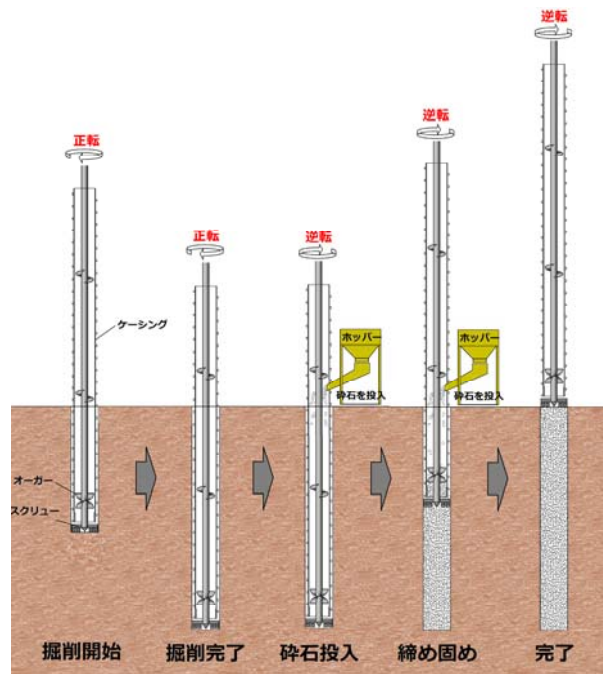


図2 施工手順の概略図

表1 適用範囲

項目		条件
使用材料		S-30, S-40, RC-40
碎石補強体の仕様	有効径	420mm
	補強体長	2.0～5.0m
適用地盤		砂質土・粘性土 補強体周面： $W_{sw} \geq 0.5kN$ かつ W_{sw} の平均値 $\geq 0.75kN$

【本技術の問合せ先】

エコノミック・ベース工法協会 担当者：藤井 寛之
〒615-8013 京都市西京区桂清水町 37-3

E-mail：info@economicbase.jp
TEL：075-382-1552 FAX：075-382-1562